

結果の要約

1 産業

福井県の平成17年の15歳以上就業者数424,168人を産業小分類^(注1)別にみると、「建設業」が45,238人(15歳以上就業者数の10.7%)と最も多く、次いで「農業(農業サービス業を除く)」が17,516人(同4.1%)、「病院」が13,965人(同3.3%)、「学校教育(専修学校,各種学校を除く)」が12,837人(同3.0%)、「電子部品・デバイス製造業」が10,406人(同2.5%)、「道路貨物運送業」が10,224人(同2.4%)、「食堂,そば・すし店」が9,507人(同2.2%)、「衣服・その他の繊維製品製造業」が8,673人(同2.0%)、「その他の精密機械器具製造業」が8,192人(同1.9%)、「他に分類されない事業サービス業」が7,310人(同1.7%)などとなっている。(表1)

また,平成12年と17年の就業者の増減を産業小分類別に比べてみると^(注2),増加率が最も高いのは「労働者派遣業」の404.2%増で,次いで「その他の電気機械器具製造業」が102.4%増,「老人福祉・介護事業(訪問介護事業を除く)」が81.8%増,「機械修理業(電気機械器具を除く)」が78.2%増,「その他の社会保険・社会福祉・介護事業」が52.5%増,「各種食料品小売業」及び「不動産賃貸業・管理業(別掲を除く)」が46.4%増,「他に分類されない生活関連サービス業」が44.1%増,「紙製容器製造業」が41.4%増,「再生資源卸売業」が37.3%増などとなっている。

一方,減少率が最も高いのは「電気機械器具修理業」の64.2%減で,次いで「電気通信業」が59.9%減,「衣服・身の回り品卸売業」が47.9%減,「林業」が44.2%減,「建具製造業」が41.1%減,「競輪・競馬等の競走場,競技団」が40.4%減,「製糸業,紡績業,ねん糸製造業」が39.9%減,「鉱物・金属材料卸売業」が33.3%減,「鮮魚小売業」が32.4%減,「その他のじゅう器小売業」が30.1%減などとなっている。(表2)

(注1) 日本標準産業分類(平成14年3月改訂)の420の小分類を国勢調査の集計用に再編成した228区分。

(注2) 平成12年,17年とも就業者数が500人未満の区分を除く。

表1 就業者数の多い産業小分類 上位20位 - 福井県 (平成17年)

順位	産業小分類	就業者数 (人)	割合 (%)	順位	産業小分類	就業者数 (人)	割合 (%)
	15歳以上就業者数	424,168	100.0				
1	建設業	45,238	10.7	11	老人福祉・介護事業 (訪問介護事業を除く)	7,272	1.7
2	農業(農業サービス業を除く)	17,516	4.1	12	市町村機関	7,138	1.7
3	病院	13,965	3.3	13	各種食料品小売業 4)	6,950	1.6
4	学校教育 (専修学校,各種学校を除く)	12,837	3.0	14	自動車小売業	5,766	1.4
5	電子部品・デバイス製造業	10,406	2.5	15	他に分類されない小売業 5)	5,599	1.3
6	道路貨物運送業	10,224	2.4	16	宿泊業	5,542	1.3
7	食堂,そば・すし店	9,507	2.2	17	児童福祉事業	5,485	1.3
8	衣服・その他の 繊維製品製造業 1)	8,673	2.0	18	染色整理業	5,392	1.3
9	その他の精密機械器具製造業 2)	8,192	1.9	19	労働者派遣業	4,926	1.2
10	他に分類されない 事業サービス業 3)	7,310	1.7	20	金属製品製造業	4,885	1.2

- 1) 成人男子・女子服製造業,寝具製造業,靴下製造業など
 2) 体温計製造業,コンタクトレンズ製造業など
 3) 包装業,メーリングサービス,シルバー人材センターなど
 4) 食料雑貨店,販売店(各種食料品を販売するもの)など
 5) 花屋,中古品小売業など

表2 就業者数の増減率が高い産業小分類 上位10位 - 福井県 (平成17年)

順位	産業小分類	就業者数(人)		増減率 (%)
		平成17年	12年 1)	
	15歳以上就業者数	424,168	438,570	-3.3
増 加	1 労働者派遣業	4,926	977	404.2
	2 その他の電気機械器具製造業 2)	850	420	102.4
	3 老人福祉・介護事業(訪問介護事業を除く)	7,272	3,999	81.8
	4 機械修理業(電気機械器具を除く)	1,158	650	78.2
	5 その他の社会保険・社会福祉・介護事業 3)	2,311	1,515	52.5
	6 各種食料品小売業 4)	6,950	4,746	46.4
	7 不動産賃貸業・管理業(別掲を除く)	836	571	46.4
	8 他に分類されない生活関連サービス業 5)	513	356	44.1
	9 紙製容器製造業	949	671	41.4
	10 再生資源卸売業	596	434	37.3
減 少	1 電気機械器具修理業	554	1,546	-64.2
	2 電気通信業	359	896	-59.9
	3 衣服・身の回り品卸売業	623	1,195	-47.9
	4 林業	373	668	-44.2
	5 建具製造業	430	730	-41.1
	6 競輪・競馬等の競走場,競技団	419	703	-40.4
	7 製糸業,紡績業,ねん糸製造業	1,190	1,979	-39.9
	8 鋳物・金属材料卸売業	656	984	-33.3
	9 鮮魚小売業	791	1,170	-32.4
	10 その他のじゅう器小売業 6)	792	1,133	-30.1

- 注) 平成12年,17年とも就業者数が500人未満の区分を除く。
 1) 日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。
 さらに一部の産業分類については,平成17年国勢調査で用いた産業分類に合わせて組替えを行った。
 2) 蛍光灯製造業,太陽電池製造業など
 3) 更生保護施設,訪問介護事業所など
 4) 食料雑貨店,販売店(各種食料品を販売するもの)など
 5) 手荷物預り業,結婚紹介業など
 6) 金物店,ガラス器小売業,プラスチック製食器小売業など

2 職 業

福井県の平成 17 年の 15 歳以上就業者数 424,168 人を職業小分類^(注1)別にみると、「一般事務員」が 56,787 人(15 歳以上就業者数の 13.4%)と最も多く、次いで「販売店員」が 20,679 人(同 4.9%)、「農耕・養蚕作業員」が 17,574 人(同 4.1%)、「会計事務員」が 17,288 人(同 4.1%)、「調理人」が 13,046 人(同 3.1%)、「商品販売外交員」が 11,971 人(同 2.8%)、「自動車運転者」が 10,191 人(同 2.4%)、「看護師」が 8,865 人(同 2.1%)、「電気機械器具組立作業員」が 7,677 人(同 1.8%)、「会社役員」が 7,230 人(同 1.7%) などとなっている。(表 3)

また、平成 12 年と 17 年の就業者の増減を職業小分類別に比べてみると^(注2)、増加率が最も高いのは「ホームヘルパー」の 106.4%増で、次いで「介護職員(治療施設、福祉施設)」が 95.4%増、「電気通信設備工事作業員」が 47.0%増、「紙器製造作業員」が 44.4%増、「栄養士」が 43.1%増、「陸上荷役・運搬作業員」が 40.9%増、「他に分類されない製造・制作作業員」が 38.4%増、「他に分類されないサービス職業従事者」が 32.8%増、「他に分類されない専門的・技術的職業従事者」が 28.5%増、「郵便・電報外務員」が 28.0%増などとなっている。

一方、減少率が最も高いのは「電子計算機等オペレーター」の 74.7%減で、次いで「プログラマー」が 70.9%減、「建築技術者」が 47.9%減、「合糸・ねん糸・加工糸作業員」が 47.5%減、「セメント製品製造作業員」が 47.1%減、「育林作業員」が 40.5%減、「めっき作業員」が 39.0%減、「裁断作業員」が 35.0%減、「土木・測量技術者」が 33.8%減、「会社・団体等管理的職業従事者」が 32.6%減などとなっている。(表 4)

(注 1) 日本標準職業分類(平成 9 年 12 月改訂)の 364 の小分類を国勢調査の集計用に再編成した 274 区分。

(注 2) 平成 12 年、17 年とも就業者数が 500 人未満の区分を除く。

表3 就業者数の多い職業小分類 上位20位 - 福井県 (平成17年)

順位	職業小分類	就業者数 (人)	割合 (%)	順位	職業小分類	就業者数 (人)	割合 (%)
	15歳以上就業者数	424,168	100.0				
1	一般事務員	56,787	13.4	11	外交員	7,226	1.7
2	販売店員	20,679	4.9		(商品, 保険, 不動産を除く)		
3	農耕・養蚕作業者	17,574	4.1	12	土木作業者	7,131	1.7
4	会計事務員	17,288	4.1	13	配達員	6,234	1.5
5	調理人	13,046	3.1	14	飲食物給仕・身の回り 世話従事者	6,204	1.5
6	商品販売外交員	11,971	2.8	15	介護職員 (治療施設, 福祉施設)	6,037	1.4
7	自動車運転者	10,191	2.4	16	清掃員	5,743	1.4
8	看護師	8,865	2.1	17	小売店主	5,297	1.2
9	電気機械器具組立作業者	7,677	1.8	18	ミシン縫製作業者	5,232	1.2
10	会社役員	7,230	1.7	19	他に分類されない 労務作業者 1)	5,111	1.2
				20	その他の金属加工作業者 2)	5,109	1.2

- 1) 機械掃除員, ゴルフ場芝刈り作業員など
 2) 工具作業者, 金型作業者, 金属製品検査作業者など

表4 就業者数の増減率が高い職業小分類 上位10位 - 福井県 (平成17年)

順位	職業小分類	就業者数(人)		増減率 (%)
		平成17年	12年 1)	
	15歳以上就業者数	424,168	438,570	-3.3
増 加	1 ホームヘルパー	1,449	702	106.4
	2 介護職員(治療施設, 福祉施設)	6,037	3,089	95.4
	3 電気通信設備工事作業者	660	449	47.0
	4 紙器製造作業者	745	516	44.4
	5 栄養士	903	631	43.1
	6 陸上荷役・運搬作業者	1,596	1,133	40.9
	7 他に分類されない製造・制作作業者 2)	2,356	1,702	38.4
	8 他に分類されないサービス職業従事者 3)	1,106	833	32.8
	9 他に分類されない専門的・技術的職業従事者 4)	1,429	1,112	28.5
	10 郵便・電報外務員	1,064	831	28.0
減 少	1 電子計算機等オペレーター	378	1,494	-74.7
	2 プログラマー	283	972	-70.9
	3 建築技術者	1,379	2,649	-47.9
	4 合系・ねん系・加工系作業者	643	1,224	-47.5
	5 セメント製品製造作業者	464	877	-47.1
	6 育林作業者	513	862	-40.5
	7 めっき作業者	430	705	-39.0
	8 裁断作業者	530	816	-35.0
	9 土木・測量技術者	2,975	4,497	-33.8
	10 会社・団体等管理的職業従事者	1,805	2,679	-32.6

注) 平成12年, 17年とも就業者数が500人未満の区分を除く。

- 1) 平成17年の職業分類により組み替えた15歳以上就業者数である。
 2) 楽器組立作業者, プラシ製造作業者など
 3) 犬・猫の美容師, レンタカー業主など
 4) 土地家屋調査士, 行政書士など